

人権・環境・貧困・開発・共生・平和



テーマ； ESD（持続発展教育）とグローバル人材

JICA中部

平成27年度開発教育指導者研修(実践編)

開発教育（国際理解教育）は、持続可能な未来を築くために、人権・環境・共生といった人類共通の課題を理解し、「身近な人と、世界の人々と、地球のすべての生命と共に生きる」ための価値観を育て、主体的に行動する力を身につけるための教育です。

本研修は、よりよい未来を描き実現するために、「参加型」を通して1人ひとりをエンパワーし、参加の力を身につけるための場と方法を提供することのできる「開発教育（国際理解教育）指導者」育成をめざします。

主催：独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA中部）

後援(申請中)：愛知県教育委員会、三重県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会

募集中
5/24(日)
申込書必着



研修の概要

(1) 研修の目的

開発教育・国際理解教育の中核的な指導者を育成すること、かつ指導者間の連携強化およびネットワーク形成を行うことを目的とします。本研修受講者は、学校・地域等における教育現場において自主的に開発教育を展開する他、JICA 中部「開発教育指導者研修（初級編）※」において指導を行うなど、地域の開発教育の中核的存在となることが期待されています。

(2) 研修のテーマ：ESD（持続発展教育）とグローバル人材

(3) 研修の流れ・日程および内容（諸事情により、変更になる場合があります。予めご了承ください。）

6～8月の3回の研修で開発教育・国際理解教育の理念と実践方法を学び、9～1月に研修の成果を活かして各自学校や地域の現場で実践をしていただき、2月に研修受講者と一般に向けて実践内容を発表・評価し合う、1年間を通した指導者向けの充実した研修です。また「平成27年度教師海外研修※」受講者は、本研修にすべて参加します。異なる場で学んできたことが本研修に還元され、さらに豊かな学び合いの場となります。

回/日時	内容（予定）
第1回 6月13日(土) 13:00～17:00 ～14日(日) 10:00～15:00	「開発教育・国際理解教育がめざすもの」 <ul style="list-style-type: none"> ・開発教育・国際理解教育の目的、内容、方法を体験的に理解する。 ・持続可能な社会を築くために世界の現状を理解し、開発教育・国際理解教育の必要性を共有する。 ・価値観を育て、行動変容を支える参加型についての理解を深める。
第2回 7月11日(土) 13:00～17:00 ～12日(日) 10:00～15:00	「開発教育・国際理解教育にできること」 <ul style="list-style-type: none"> ・開発教育・国際理解教育が扱う5つの柱について理解する。 ・「同一性」「多様性」「わたし・あなた・みんなのつながり」についての学び方を習得する。 ・課題を共に越えるために必要なスキルとスキルビルディングについて学ぶ。
第3回 8月22日(土) 13:00～17:00 ～23日(日) 10:00～17:00	「開発教育・国際理解教育のすすめかた」 <ul style="list-style-type: none"> ・流れのあるプログラムの作り方について学び、参加型手法を習熟する。 ・プログラムを作り、ファシリテーターとしてプログラムを実施する。 ・ファシリテーターの役割とよりよい参加型の進め方について確認する。
9月～1月：各自、学校や地域で実践！	
第4回 2月6日(土) 10:00～18:00	「開発教育・国際理解教育をつなげよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回：実践の共有、研修成果のふりかえり、フォーラムの準備を行う。 ・フォーラム：一年間の研修成果と実践を一般市民に向けて参加型で共有する。
実践報告フォーラム 2月7日(日) 10:00～16:30	

(4) 研修の場所（全日程）

JICA中部 なごや地球ひろば

2階セミナールーム

<http://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/information/access.html>



(5) 講師（ファシリテーター）

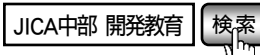
NPO法人 NIED・国際理解教育センター

<http://nied.love-hug.net>



※ 過去の「開発教育指導者研修（実践編）」および「教師海外研修」の詳しくはJICA 中部ウェブサイトをご覧ください。

⇒ <http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/>



「JICA中部 開発教育」でウェブサイト検索

募集要項

(1) 対象

小学校、中学校、高等学校、中等高等学校、高等専門学校、特別支援学校の教師、教育委員会の指導主事等、地域国際化協会職員、NGO/NPO スタッフ、JICA ボランティア経験者等で、開発教育・国際理解教育を実践されている方

(2) 参加条件

- ① 本研修は連続講座であるため、原則、全研修に参加可能な方（研修期間中において欠席日数が多くなるなどの受講状況が見られた場合、主催者の判断で受講の継続ができなくなることがあります。）
- ② 実践報告フォーラムにおいて実践内容について発表していただける方
- ③ 本研修の定めた期間内に所属校や地域において実践を行い、当該活動の実践報告シート(所定の様式)を当該年度1月末までに提出し、報告書冊子やJICA ウェブサイトなどで公開されることに同意いただける方
- ④ 過去の開発教育指導者研修（上級編または実践編）参加経験のある方も応募可能とします。
- ⑤ 本研修の事前および事後連絡における効率化のため、パソコンメールアドレスでの連絡が可能なこと

(3) 定員 40人程度（うち20人程度は教師海外研修参加者）

(4) 参加費 無料（交通費は各自にてご負担いただきます。遠方にお住まいの方はJICA 中部に宿泊ができます（JICA 規定に基づき宿泊料はJICA 負担。））

(5) 応募方法、選考など

- ① 次ページの申込書をご記入のうえ、FAX、郵送、Eメールのいずれかにて、事務局にお送りください（JICA では申込書の受け付けを行いません）。
- ② Eメールでご応募される場合は、申込書フォーム（ワードファイル）をご活用ください。JICA ウェブサイト（<http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/shidousha/>）よりダウンロードできます。
- ③ 申込書に記入する「Eメールアドレス」は2、3日以内に確認ができるものをご記入ください。
- ④ 申込み締切は5月24日（日）事務局必着です。
- ⑤ 応募書類等に基づき、選考を行います。選考結果は、6月上旬までに事務局より文書にて通知いたします。

昨年度の受講者の声(1年間の研修を通して、あなたの最も大きな学びや変化)

- 異文化交流や異文化体験に留まらず、共通の課題について考えたり、自分自身や地域について考えるような活動に、実践の幅を広げることができた。
- 特別活動や道徳の授業などに参加型の手法を取り入れることで、授業づくりの幅が広がった。
- 参加型授業の実践を通して、子どもたちが主体的に学ぶという場を体験することができた。普段なかなか発言できない子も意見を言えることができ、みんな楽しそうで、嬉しかったです。
- 参加型の手法はもちろんだが、それを使うファシリテーターとしての心得を考えることができた。
- 世界を多角的にみられるようになり、自分や身の回り、日本を広い視野で見つめなおすことができた。
- 開発、国際教育に対する熱意を持った先生や他団体の方との新たな出会い、繋がりができた。



応募・問い合わせ先

● 事務局(業務委託先)

特定非営利活動法人 ^{ニード} N I E D ・国際理解教育センター J I C A 研修係（担当：川合）

〒464-0032 愛知県名古屋市千種区猫洞通5-21-2 ライフピア本山3階

E-mail : nied@love-hug.net（問い合わせはEメールでお願いします）

TEL : 070-5333-5566 FAX : 052-781-5779

※ 申込書フォーム（ワードファイル）をJICAウェブサイトよりダウンロードできます。

⇒ <http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/shidousha/>

■平成27年度開発教育指導者研修(実践編) 申込書

氏名(ふりがな)	性別 女 ・ 男	年齢 10代 ・ 20代 ・ 30代 40代 ・ 50代 ・ 60代以上
自宅住所 〒 県		
自宅電話番号 () -	自宅FAX番号 () -	
Eメールアドレス <input type="checkbox"/> 個人アドレス <input type="checkbox"/> 所属先(共有)アドレス (↑どちらかにチェックをつける) @	所属先(学校名、団体名等)	
参加確認 全ての研修に参加いただくことが原則必須となっております。 ※やむを得ない事情で参加できない場合は、参加できない日と理由をお書きください。(募集要項の研修日程をご参照ください。)		宿泊希望 あり ・ なし <small>注:公共交通機関の営業距離が 50km 以上の方は(宿泊料JICA負担で)JICA に宿泊していただけます。最終的に宿泊の可否について、JICA にて決定いたします。</small>
問1 学校や地域で、開発教育・国際理解教育について、どんな実践をしていますか？ または、今後どのような実践をする予定ですか？ (対象、内容、実践した成果など)		
問2 今回の研修に応募した理由は何ですか？ また研修を通して何を学びたいですか？		

※ 【個人情報の取り扱いについて】 個人情報の管理には細心の注意を払い、本研修の実施にかかる諸手続、研修後のモニタリングのために利用し、これらの目的以外には使用しません。これら情報は、本事業の業務委託先に情報提供しますので、予めご了承ください。

Fax 052-781-5779

5/24(日)必着

(通信エラーなどでFax送信できない場合は、担当川合 (070-5333-5566) までご連絡ください。)